

自然体験活動上級指導者（インストラクター）養成講習会

11月22日（金）～24日（日）

参加者 10人

講師 山本 孝子（日本保護協会自然観察指導員） 高屋 良平（NPO法人 エヌエスネット理事）
 西出 和彦（仁愛大学 人間生活学部 教授） 桐山 公宏（飛騨山岳ガイド協会 理事長）
 福富 優（至学館大学 短期大学部 助教） 上平 尚（乗鞍山麓救助隊 代表）
 中澤 朋代（松本大学 総合経営学部 准教授）

11月22日 （金）		10:00	11:00	12:00	13:00	14:30	14:45	16:15	18:00	21:00	22:30
	受付	開講式	ガイダンス 1.0H	昼食	自然体験活動の特質 1.5H		学校教育における 体験活動の意義 1.5H	夕食	対象者理解 3.0H	入浴	就寝
11月23日 （土）	6:30	7:00	9:00	12:00	13:00	16:00	16:30	18:00	19:30	21:00	22:30
	起床	つどい	朝食	自然体験活動における プログラムの企画・運営 3.0H	昼食	自然体験活動における プログラムの企画・運営 3.0H	自然体験活動の指導 1.5H	夕食	自然体験活動の指導 1.5H	入浴	就寝
11月24日 （日）	6:30	7:00	9:00	12:00	12:45	15:45	16:15				
	起床	つどい	朝食	自然体験活動の技術 3.0H	昼食	自然体験活動の安全管理 3.0H	試験 0.5H	閉講式			



「自然体験活動の特質」
 亜高山帯に植生するダケカンバの特性について学びました。



「学校教育における体験活動」
 月の満ち欠けについて模型を使っでの学習です。



「対象者理解」
 さまざまな事業における参加者について話し合いました。



「自然体験活動の企画・運営」
 グループ毎に2泊3日のプログラムを計画してみました。



「自然体験活動の指導」
 暗闇の活動での楽しみ方・注意事項を学びました。



「自然体験活動の安全管理」
 野外活動における応急手当の仕方等について学びました。



「自然体験活動の技術」
 さまざまなロープワークを学びました。

